

生活単元学習支援案

1 単元名 「おこのみやきやさんをひらこう2」

2 単元について

「お好み焼き」は、おうちの人と食べに行ったり、家庭でも作ってもらったり、子どもたちにとって身近で大好きな食べ物の一つである。これは、好きな具材を入れることができ、手順も簡単で、子どもでも安全に気をつければ作りやすい食べ物である。

本単元は、「おこのみやきシリーズ」の4回目の学習になる。

1回目の小単元(7時間)「おこのみやきをつくろう」では、お好み焼きを自分たちで作って食べてみている。

2回目の小単元(15時間)「おうちの人や5年生の友だちにおこのみやきをつくろう」では、校区のお好み焼き屋さんに行ってお好み焼きを買う体験をした。その後、おうちの人や5年児童の交流学年の子どもたちを対象にお好み焼きを作り、作ったお好み焼きを食べてもらった。

3回目の小単元(8時間)「おこのみやきやさんをひらこう1」では、給食室の先生方や赤いふうせん(読み聞かせボランティア)の方、専科の先生を対象に、お好み焼きを焼いて売り、実際に買っていただいた。

そして、4回目の本単元「おこのみやきやさんをひらこう2」は、3回目の学習の経験を基にボランティアの方やPTAの方、先生方を対象にお好み焼きを焼いて売る活動である。

同じような活動をしてきているので、見通しをもって自ら行動し、自信をもって多くの人のかかわりを楽しんでほしい。

この単元の後、5回目「地域のお年寄りの方にお好み焼きをプレゼントしよう」(一緒にクリスマス会を行う)につないで、シリーズを終わることになっている。

3 単元のねがい

〔お好み焼きを作る〕

具材を切る、生地を作る、焼く、味をつけるなどに自分から進んで取り組み、お好み焼き作りを楽しんでほしい。

〔買い物やお好み焼きを売る〕

自分が買う物を選んでお金を払ったり、お客さんに品物を渡してお金をもらったりして自分でお金を使うことに慣れてほしい。

〔お好み焼き屋さんを開く〕

お店を開くお知らせをしたり、お客さんに挨拶をしたりお礼を言ったりしてたくさんの人たちと言葉でふれ合うことに慣れ親しんでほしい。

また、たくさんの人にほめてもらったり喜んでもらったりすることで自信をつけ意欲的に活動してほしい。

単元における子どもたちの個々のねがい

	ね が い
	買い物に行ってお金を払ったり、お好み焼きを売ってお金をもらったりしてほしい。 お好み焼きを作ったり、売ったり見通しをもった活動を楽しんでほしい。
	材料を買ってお金を払ったり、一人でお好み焼きを売ってお金をもらってほしい。 進んでお好み焼きを作ったり、お客さんに声をかけたりして活動を楽しんでほしい。

4 支援観

このような子どもだから

本学級は1年生1名，5年生1名の計2名で構成されている。

1年生の 君は，一人遊びを楽しんだり誰かがかかわってくれることを楽しんだりしている。誰かに自分の要求をを伝えたり相手の声かけに応じたり人とのかかわり方を学んでいるところである。

5年生の さんは，これまでにたくさんのものでづくりを体験し，作る喜びやほめてもらううれしさを味わっている。

二人とも自分一人で最後まで活動することや自分から誰かに進んで声をかけてふれ合うことは少ない。

こんな活動を

本単元では，二人が共通して好きなお好み焼きが自分たちでも作れることを体験し，自分で作った物を誰かに食べてもらってほめてもらうことで自信をつけ，お店を開くことでより多くの人とかかわりをもつことを楽しむようにする。

そのために，計画の段階では，お好み焼きが好きな具材で簡単にできることを経験し，実際にお店に行くことでお店屋さんに興味を持つようにする。

作る段階では，誰かに食べてもらうために作るという目的をもち，喜んでもらうことで自信とお店屋さんを開く意欲を持つようにする。

お店を開く段階では，チラシを配ったり売ったりすることで進んで多くの人とかかわるようにする。



このような支援を

お好み焼きを作りたいという気持ちを持つようにするために

君は，食べ物作りが初めての経験なので，担任が目の前で作って見せ，できた物を一緒に食べることで，学校でも食べ物を作る活動があることを体験する。

そして，次に自分たちで買い物に行って実際に作ることで，自分たちでもできることを体験する。作る時に，できたことをほめたり，食べる時においしくできたことを一緒に喜ぶことでまた作りたいという意欲が出るようにする。さらに，お好み焼き屋さんに行って，作っているところを見学する。手さばきを見て，自分もしてみたいと興味を持つと考える。そして，実際に自分たちで作っているところをおうちの人に見てもらってほめてもらい，食べて喜んでもらうことで作ることに意欲をもつようにする。

活動のはばをもたせる

具材は，キャベツ・ちくわ・ソーセージ・チーズ・干しエビなど子どもたちが好きでそのままでも食べられる物を使い安心して作れるようにする。

道具は， さんが一人でも使えるように，軽いまな板や安全な子ども用の包丁を用意する。

君は，安心して道具が使えるように，切る道具としてベジタブルカッターや 卵切り器を用意する。 君が，活動に飽きないようにお金を入れる箱やお茶用のポットなど用意しておくようにする。 君と担任は一緒に活動し，必要に応じて声をかけたり，手助したりして支援を行う。

さんの活動においては，教師と一緒にした方が良さそうなときは，本人の意志を確かめ，活動を一緒に行う。

焼くときは，ホットプレートを使う。タイマーを用意し，時間で裏返すことができるようにする。

作り方は，写真で手順を表し，確かめながら活動できるようにしておく。

さんは，手順を覚えて作れるように，また，1年生は作る活動に慣れるように，作る機会を多く計画する。目的をもって活動できるように，おうちの人や5年生の友達，ボランティアの方や先生方に食べてもらう機会を設定する。誰かに喜んでもらうために作ることで 意欲的に取り組めると考える。

多くの人とかかわるために

お店を開き、たくさんの人とかかわることができるようにする。

君は、「こんにちは」「ありがとうございました」が表現できることを願っている。

さんは、お店屋さんになって「こんにちは」「食べてください」「ありがとうございました」などを進んで話すことを願っている。

そのために、算数や国語でもお店屋さんごっこを計画し、品物を渡して代金をもらったり、お客さんの対応に慣れておく。

また、お店にたくさん来てもらうために、先生やボランティアの方々、PTAの方々にチラシやポスター・案内状を作りお知らせに行く。

1回目は、給食室の先生と読みきかせボランティアの方々や専科の先生を対象にお店を開く。知っている方々なので子どもたちが話しやすく、お店屋さんを楽しめると考える。飛び入りで、専科の先生やPTAの方にも来ていただき、予定外の方にも対応できるようにする。給食室には出前をする。頼まれた数を届けることを体験する。あいさつやお客さん対応で、できたことをほめ、たくさんの方に喜んでもらうことで自信がもてると考える。

金銭に慣れるために

単元を通して何度も買い物に行ったりお好み焼きを売ったりすることで直接お金にふれ、金銭の使い方に慣れるようにする。

個人の様子・ねがい・手だて

名前	児 童 の 様 子	ね が い	手 だ て
1 年	<p>何度も繰り返しお好み焼きを作ってきたので、活動の見通しがもてたようで、できるまで座っている。</p> <p>卵切り器でソーセージを切るのが好きで必要な本数を切ることができている。</p> <p>買い物に慣れてきている教師と一緒に品物を手にし代金を払っている。</p> <p>お金を箱にいれることを楽しんでいる。</p>	<p>一人でできるところは一人で活動し、お好み焼き作りを楽しんでほしい。</p> <p>買い物に行き、ソーセージを選び、一人でお金を払ってほしい。</p> <p>お客さんにあいさつをしたりありがとうの気持ちを伝えてほしい。</p> <p>一人でお客さんからお金を受け取って箱に入れてほしい。</p>	<p>活動に集中できるようにお金入れやお茶用ポットや音楽を準備する。</p> <p>一人で活動できるように励ます。</p> <p>買うものがわかりやすいように写真を用意する。</p> <p>お金を払うように声をかけるようにする。</p> <p>お金を受け取ったら教師と一緒にお礼を言い、できたらほめる。</p>
5 年	<p>お好み焼き作りが好きで食べてくれた人の喜ぶ姿が嬉しくて活動に励んでいる</p> <p>一人になりたいと思っている</p> <p>買い物では、声をかける方が、安心して行動している。お好み焼きを売ること</p> <p>に慣れてきている。</p> <p>親しい人には大きな声で対応ができている。</p>	<p>自信をもって進んで活動し楽しんでほしい</p> <p>一人でできることは一人でしてほしい。</p> <p>材料を自分で見つけ、お金を一人で払っておつりをもらってほしい。</p> <p>たくさんの人と接することに慣れて、あいさつやお礼を進んで言ったり、お金をもらったりしてほしい。</p>	<p>手順がわからなくなったら写真を見るように促し、一人でできたらほめる。教師も一緒に活動し、雰囲気を作るようにする。</p> <p>買い物カードをみて、一人で活動できるようにする。</p> <p>あいさつやお礼が言えるように励まし、言えたらほめるようにする。</p>

本時学習支援案

6 本 時 第9 / 10時

7 本時のねがい

たくさんの人におこのみやきを売って、お好み焼き屋さんを楽しんでほしい。

- 1年生 君 ・あいさつをしてほしい。
・お客さんにお好み焼きを渡してほし。
5年生 さん ・自分で、お客さんに声をかけてほしい。
・ひとりでおこのみやきを焼いてほしい。

8 本時支援の考え方

子どもたちは、「おこのみやきやさんをひらこう1」で、給食室に出前に行ってお金をもらってきたり、「赤い風船」の方に買いに来ていただいたりして、お店屋さんを経験をしている。

本時は、2回目のお好み焼き屋さんの活動になる。5年生にお好み焼きを届けたことや、1回目の「おみせやさんをひらこう1」でしたことを思い出し、見通しをもって活動することになる。

まず、君がお好み焼き屋さん開店の音楽をスタートさせる。お好み焼き屋さんをしている間は音楽がかかっているようにする。音楽がかかっている間は、お好み焼き屋さんをがっんばる約束をしておく。そして、各児一口お好み焼きを作り始める。生地は、前時に準備しておく。

さんと君は、ふたりともそれぞれホットプレートで焼いていく。君が、活動できるようにホットプレートにシリコン製の目玉焼き用型や楽しめるお金の箱やポットやヒュウガ君が好きな曲を準備する。

君については、活動に集中する時間が少しでも長くなるように一緒に活動したり、励ましたりする。次の活動に入る前に、「する？」と尋ね、進んでするようであれば、次の活動に進むようにしていく。しないときは、「さんにしてもらっていい？」と尋ね、納得した上でさんに代わりをしてもらう。

お好み焼きができたなら、さんができたことを口頭で知らせる。R君もベルを鳴らして合図する。できたお好み焼きは、Mさんが、お皿に自分の分とR君の分をのせ、刷毛でお好みソースをぬる。それにR君が、青のりとかつお節粉をふり、かつお節をのせて、お客さんに渡す。そして、Mさんがお金を受け取り、必ず、お礼を言うようにする。R君は、言葉ではっきりとお礼が言えないので手を出してお客さんにタッチをしてもらう。そして、R君が、Mさんからお金を受け取り、箱に入れる。箱は、Rくんが楽しんでお金を入れることができるように工夫する。

教師は、横に付き、子どもたちが一人で活動できるように「つぎはなにをするの？」と、自分で思い出しながら活動するよう声をかけていく。また、お客さんへのあいさつやお礼は、一緒に言って、回を重ねるごとに一人で言えるように励ましていく。自分で言えたらほめるようにする。

お客さんには、その場で食べてもらい、お皿やフォークは返却場所に戻してもらう。そのとき「お客様の声コーナー」を設置しておき、おいしかったシールを貼ってもらう。たくさんシールをもらうことで頑張ったことが形に残り、次への学習の励みになると考える。

お店の開店時間は40分限定とし、音楽が終わると同時に閉店する。

みんなで、お客さんにお礼を言って閉店のカードを置く。

その後、お客さんの声(シール)を見て、頑張ったことを喜び合い、さらに担任は二人のがんばりを誉めて終わる。

9 準備

教師・・・お店屋さんのセット，看板，前時に各自が作ったお好み焼きの生地，玉じゃくし，お越し金，ホットプレート，お皿，フォーク，ティッシュペーパー，飲料水，ポット，油，調味料（お好みソース・青のり・かつおぶし粉・かつお節），お好みソース用捌け，タイマー
 子ども・・・エプロン，三角巾，おしぼりタオル

10 本時の展開

おもな活動と内容	個の活動（ ）と支援（ ）	
	君	さん
<p>1 お店屋さんを始める。（音楽スタート）</p> <p>（1）焼く ホットプレートに油を塗って，生地をのせて焼く。（3分間） お好み焼きを裏返した後，客寄せをする。（3分間）</p> <p>（2）味付け 3分経ったら，皿に取り味付けをする。</p> <p>（3）売る。 フォークを付けてお客さんに渡す。 お金をもらう。 終わったら次を焼く。 （1）（2）（3）を繰り返す。</p> <p>（4）お客さんに，食事後お皿とフォークを返却コーナーに返してもらい，そこに用意されているお客様の声コーナーのシールシートにおいしくできていたらシールを貼ってもらうように声をかける。</p> <p>2 お店を閉める。（音楽終了） お客さんにお礼を言って 終わりを告げる。</p> <p>3 今日のがんばりを喜び合う。 ・シールシートを見てお客さんの声を確かめる。 ・ハイタッチをして終わる。</p>	<p>音楽をスタートする。 生地を置く。 置くところがわかるようにシリコン製の枠を置く。 タイマーON お皿の準備をする いすに座って活動できるようにする。 ベルを鳴らす。 ソースの上に青のり鰹粉，かつお節をのせる 一つ一つの行動を誉める。 お客さんにお好み焼きを渡し，タッチする。 お金を箱に入れる 楽しめるような箱を準備しておく。 様子を見てできないところは一緒にする。 お客さんにお水をついで渡す。 ワンプッシュのポットを用意する。 音楽のスイッチをきる。 シールを見せて頑張ったことを確かめ合う。 ほめる。</p>	<p>「お好み焼きははじめます」と大声で言う。 油を塗る） 生地を置く。 タイマーのスイッチを入れる オープンの札を出す。 「いらっしゃい！」 焼けたらソースを塗る。 一つ一つの行動を誉める。 お金をもらいお礼を言う。 張り切ってできるように声をかける。 閉店の札を出す。 「ありがとうございました。」 とお礼を言う。 シールの数を数えたり，箱に入ったお金を確かめる。 今日のがんばりをほめる。</p>